

自己評価票

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
Ⅰ. 理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の権利を大切にしながら、地域の中で暮らし続けることができるよう「心豊かな生涯が送れますよう…」独自の理念があり		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者共々、運営上の方針、目標を日々話し合い理念の実践に力を注いでいる。		
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホームの見やすい所に掲示したり、折に触れ家族地域の人々にわかりやすく説明している。		
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩、庭先での近隣住民の方々との朝夕の挨拶は勿論、園児との交流、会話も楽しんでいる。日々のコミュニケーションをとり、馴染みの関係を築いている。		
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隔月発行の双葉ニュースを地域の回覧にて配布し、ホームの理解を深めている。	○	地区の自治会、老人会などの活動もないので、まず近くの保育園との交流を深め互いの行事に参加しあいたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	中学生の体験授業の受け入れや、住宅支援センターへの協力として施設入居者の対応マニュアル作成に参加している。	○	隣接の小規模多機能ホーム双葉と共同で地域に活動の輪を拡げたい。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を理解し、評価を一人々の利用者に活かせるよう意見を出し合い改善に取り組んでいる。入浴時間の改善、一人ひとりの居場所作りなど。	○	介護サービスの質の改善を図る為、評価を客観的に受け止め、引き続き職員の意識付けに取り組んでいる。
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前期の外部評価の公表、利用者への取り組みを話し合い、意見をサービスに活かしている。	○	地域に密着したサービスの向上を図る。
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の開催する部会等に参加し、施設虐待マニュアル作りに参加し、ホームの向上を図る。	○	市及び包括支援センターとの連携を図っている。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	公的機関開催の講習会及び青年後見人を介し、必要性・活用法を学び、支援している。		
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	県の開催する研修会の受講及び施設部会の推進会への参加等、全職員に学ぶ機会を持ち、特に事業所内での防止に努めてい		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
4. 理念を実践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時とも、わかりやすい説明を心がけ、納得の行くよう常に配慮している。質問、疑問点にも専門スタッフの説明、アドバイスもしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	個別に会話できる機会を設け、利用者の意見、不満、苦情を運営に反映させている。		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時または、電話にて日常生活の報告、金銭の報告・確認・捺印を頂いております。双葉ニュースでも暮らしの一面をお知らせしており、楽しみとことです。職員の異動に付いても文書等の報告をしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し、定期的に支援に反映させている。他事業所のケアマネ等への相談も促している。	○	包括支援センター等への機会も取り組んでいる。
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	週1回の運営者を交えての会議があり、思いを直接話す機会があり、運営に反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成時に職員各自の予定を詳細に相談しており、急な利用者への対応も出来るよう、十分に調節している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮を	職員からの要望を十分に聞き入れ、勤務体制の調節を図り、ケアの継続に支障のないよう対応している。		
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経営者の積極的な職員育成体制があり、資格取得支援もある。終了後も内容の共有により、全職員が前向きに取り組んでいる。		
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域部会やネットワークを通じて、困難事例の問題を共有し、互いの向上に取り組んでいる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	別棟での休憩に配慮する等、自分の時間を取り入れる体制作りをしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	実務経歴到達時、資格取得への支援体制がある。各種講習にも全員参加できるように配慮している。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時から、利用者の不安などに傾聴し、話しやすいよう配慮している。		

グループホーム双葉 [千葉県]

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	全職員が、電話相談などにも時間をかけてよく聴き、家族などの困難事項を受け止める努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事項、提供表等を参考に（本人の行動や言動も注意深く見させていただくこともある）必要とするサービスを見極めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	他の利用者が行っていることに、本人が無理なく参加できる迄、見守る体制をとっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りや掃除など、日常生活の中で、生活の工夫や相手への思いやりを学ぶことがある。		
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築	庭造り、野菜作りの家族参加行事も設け、家族と共に支えあえるよう日々築いてい		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	困難事例の家族などもあるが、仲介役として本人との関係をよい方向に支援している。本人作成の絵手紙で家族への生活便りや年賀状を出し交流を図っている。	○	今後も職員研修等でさらに学び、支援する。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人が気軽に来訪し、食事を一緒に摂って帰られる。		
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	生活への参加メンバーを換えて促したり、互いの会話にも職員が気を配りながら仲間作りの支援をしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院の場合は、見舞いがたら訪ねたり、本人、家族の相談には随所対応し、電話などでの声掛けも大切にしている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の体調や気分に合わせて、本人の思いに沿う、本人を中心とした生活リズムであるよう常に検討している。		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族などとの連携の中からも把握し、今後の生活につなげるよう日々配慮している。		
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	自然に自らが無理のない生活参加が出来るよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	来訪時や電話などで出来る限り、本人、家族の思いを取り入れ、チームの意見も受け入れ相談しながら作成している。		

グループホーム双葉（千葉県）

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成して	日常の気付き、意見を取り入れ、問題点や支援方法を話し合い計画作成している。		
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	具体的なケース記録をスタッフ全員が目を通し、共有することで意見が出され、介護計画に活かされている。	○	さらに詳細に変化等を話し合い、日々見直しを図っている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	常に変化する要望に対し、即座に各分野の専門スタッフのアドバイスを受けながら柔軟な支援をしている。	○	各分野との連携を取り、多様なサービスで支援できるよう努力したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者の生活の安定や拡がりのため、多方面からの協力が得られるよう働きかけを行っている。		
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人、家族の意向よりに対応している。		
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	成年後見人制度への支援として地域包括支援センターと連携を取り、本人、家族への支援を図っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	受信日、引率者にも考慮し、本人が希望する医療が受けられるよう支援している。		
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師との密な連携が取れ、個別支援を行っている。		
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤看護師の配置により職員も気軽に相談できる。また訪問看護ステーションとの連携もあるので医療的支援体制を確保している		
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連	医療機関と相談しながら、本人、家族の意向に沿った対応をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	折に触れ、家族、医師、職員などで話し合い、ケア対応方針を共有している。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	常に体調面や機能低下に留意した連携体制に取り組んでいる。今後の変化に備える検討、準備も医療及び介護のチームとしての支援に取り組んでいる。	○	本人の日常の変化、体調などを家族と常に連絡、報告を取り合い、希望を取り入れ、安心した支援となっている。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐこと	本人の意向を取り入れ意思決定された事項に対し協力し、多方面への配慮をしている。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1) 一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	現実とかみ合わない言動、誇大な言動も受け止め、傾聴する姿勢で対応し、記録物は所定の場所で保管している。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が理解できる言葉遣いで対応し、利用者の伝えたいことを表現でき、決定できるよう対応している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	家事、特に台所仕事が好きで、一緒にゆったり過ごせるよう配慮しているので、生き生き暮らしで入る。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	昔からの行きつけの美容院等を利用している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備から係わり、会話もふくろみ一人一人の力にあった楽しい支援となっている。	○	大皿からの取り分けもできるよう配慮し、メニューの工夫もしている。
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族の健康志向から、乳酸飲料をお茶の時に召し上がる方、好みのおやつを楽しみ方など、様々な対応をお互いに配慮しながら支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の誘導及び介助、失禁の対応には、不安や羞恥心、プライバシーに配慮している。また一人一人の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄に自立支援を心がけて	○	日中は、布パンツを使用し、トイレでの排泄習慣とオムツ使用を減らしている。
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望を取り入れた入浴時間の配慮をし、気持ち良く入浴できるよう支援している。		
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日々の体操やリハビリを兼ねたレクリエーション、散歩、家事への参加などでおおまかな生活リズムが出来ている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の身体機能に合った家事参加の促しや、楽しみ、出番を見出せるよう、場面作りの支援をしている。		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や力量に応じて、また家族の意向も汲み、管理方法を決めて支援している。		
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	庭先、散歩、買い物等、外に出る機会を設けている。	○	ドライブなども含め、外出機会を増やしていきたい。

グループホーム双葉 [千葉県]

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お好み外出として本人から前もって尋ねておき行っている。家族には来訪時などを利用し相談、報告をしている。		
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	小荷物のお礼等のダイヤル支援をしたり、手紙の読み書きなども個別に支援をしてい	○	利用者の力に合わせての絵手紙作成をし、作品の便りを家族に届けたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪者は、家族、友人、知人など、希望により食事の提供も出来るので楽しみにされている。		
(4) 安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する受講に積極的に参加し、身体拘束をしないケアに全職員で取り組んでいるため、当初からまったくない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組ん	運営者及び職員は、日中の鍵掛の弊害は理解している。居室の鍵掛は全くない。	○	徘徊事故マニュアルを作成し、日々徘徊者に心配りしている。
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は、一人一人のプライバシーに配慮しながらさりげなく把握し、支援している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	裁縫道具等の使用後は、針等の確認をするなど、本人に合わせて対応している。		
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の身体機能に配慮した支援をしている。徘徊事故対応など、知識習得をし、対応マニュアルの整備も行っている。		
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	医師、看護師、消防署の協力を得て定期的に応急手当の訓練をし、事故発生に備えている。		
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルも整備しており、近隣にも連絡し定期的に訓練している。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	現状を家族に理解していただくよう働きかけ、安全で且つ自由な暮らしの支援を継続できるよう話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	起床後のバイタルチェック。異変に関する情報の共有、医師との連携に努めている。		
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は、医師の指示の基に行われ、職員も理解しており、症状の変化に気を配っている。		
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給、体操等を行い、便秘予防に取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔衛生に十分配慮し、義歯の洗浄、うがいへの促しを含め、支援に取り組んでい		

グループホーム双葉 〔千葉県〕

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
77	28	栄養摂取や水分確保の 支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べやすいように工夫し、栄養士の支援もありバランスの良い献立に配慮している。水分補給は、状態に応じ、促し、支援している。		
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	保健所、医師などの指導による感染予防マニュアルも整備され、来訪者の手洗い、うがいの励行。利用者のうがい、手洗いを支援している。		
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	他事業所の管理栄養士の定期的な指導もあり、安全管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1) 居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄 関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関、玄関先は、いつも植木やお花をおき、天気の良い日は、庭の草花に通りすがりの地域の方々も立ち寄って話に華が咲き	○	玄関先での栽培している野菜作りも、収穫が楽しみです。
81	29	居心地のよい共用空間づ くり	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たりの良いホール。床暖房の設置。落ち着いた暮らせるよう音の大きさ、採光など、気配りが行き届いている。		
82		共用空間における一人ひ とりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	構造的に少々苦しいが、庭に椅子を置くなど工夫して、気の合った利用者同士が自由に過ごせる居場所の確保をしている。	○	庭に椅子を用意し、外での会話も楽しんでいる。
83	30	居心地よく過ごせる居室 の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や身の回り品の持込で生活の継続性を大切にしている。希望に合わせてフローリングに畳を敷き、和室感覚で暮らせるような工夫もしている。		
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	喚起を頻繁にし、温度調節もこまめに行い居心地の良い環境に配慮している。空気のおよみは、感じられない。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全 な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、要所への手すり、足元ライト、浴槽、トイレの安全確保、トイレの押しボタン式蛇口、床暖房など、工夫している。		
86		わかる力を活かした環境 づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室の扉に2箇所表札がつけられ、手元は、各人好みの花が描かれている。トイレも目印があり、自立支援の配慮がある。		
87		建物の外周りや空間の活 用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花を植えたり、野菜の収穫をしたり、育てる楽しみを共感している。		

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
V. サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	●ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	●毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	●ほぼ全ての利用者があるところへ出かけている ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	●ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	●ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない